

とうきょう ジャーミイ イード の ホトバ

2022 ねん5がつ2にち (ふつか)

イード・アル=フィトル



そんけい すべき ムスリム の みなさま！

その はじまり は じひ であり、 ついで なかごろ は ゆるし であり、 そして その おわり は じごく からの きゅうさい である ラマダーンづき を ふたたび むかえられた こと に かんしゃ しています。この しゅくふく された つき が おわる のは さみしい ことです。こうして イード の あさ を むかえられた のは こうふく な こと であり、 ちゅうじつさ と どうほうあい の こころ が なみ の ように ひろがる のを かんじて います。イード を むかえさせて くれた ぜんのお の アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) に、おわり の ない しょうさんと かんしゃ が あります ように。イード を、 よろこび と こうふく、 そして アッラー を おもい おこす ための ひ と して おしえた わたしたち の よげんしゃ ムハンマド・ムスタファ (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) に、 サラート と サラーム が あります ように。イード・ムバーラク！ みなさんの イード の こうふく を おいり します。

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

イード とは、 しこう の アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) から、 ラマダーンづき に さいかい を した しもべたち への たまわりもの です。きょう は たがい に あゆみより、 こころ と いえ の とびら を ひらき、 こうふく を わかちあう ひ です。きょう は おとずれる ばしょ すべて に きぼう と かんしゃ、 そして しんこうしゃ として ふたたび イード を むかえられた よろこび を もたらす ひ です。ですから、 そんけい と やさしさ に あたい する りょうしん や、 せいじつ な はんりよ であり、 よいとき も わるいとき も みまもって くれていた あなた の つま と とも に、 そして よろこび と きぼう の ちいさな みなもと である あなた の こどもたち と とも に たのしむ ように しましょう。ねんちょう の しんるい や しんせき、 りんじん、 ゆうじん を たずねましょう。びょうきの ちじん が いれば ようす を たずね、 おいた ひ と が いれば こうふく を わかちあいましょう。みよりの ない こども、 こまっている ひ と、 こどく な ひ と を えがお に する こと で、 わたしたち の イード を いぎ ある もの に しましょう。この イード の あさ、 おなじ キブラ に むかって かた を ならべる きょうだい、 しまい として、 たがい に たいする はらだち も あらそい も おわりに しましょう。「しんこうし やたち は どうほう である」¹ という ごめいれい に したがひ、 たがい に たいする あいじょう と しんらい の きずな を ふかめ ましょう。なくなった しんせき の こと、 しゅくふく された こきょう の ため に、 みずから を ぎせいに した めいよ ある じゅんきょうしゃたち の こと を おもい おこし ましょう。こんなん に ある ムスリム の きょうだい、 しまい の ため に、 りょうて を あげて アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) に ねがい ましょう。どうほう が へいあん で おだやかな、 そして あんぜん な イード を むかえられる よう、 アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) に いり ましょう。

しんあい なる ムスリム の みなさま！

いじょう の おもい と こころ を こめて、 ムスリムせかい すべて に、 また とくに わたしたち の こきょう に、 こうふく な イード が あるよう ねがって います。この イード を とおして ぜんのお の アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) が ぜんじんるい に ぜん を もたらします ように。ほんじつ の ホトバ を、 よげんしゃ ムハンマド (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) の ハディーヌ を もって おわります。「ひとびとよ！ あなたがた の あいだ に サラーム を ひろめ、 たべもの を わかちあい、 しんぞく の きずな を まもり、 ひ と が ねむる あいだ にも れいはい を して、 つつがなく らくえん に はいれる ように くださいね」。²

¹ Hujurat, 49/10.

² Tirmidhi, Sifat al-Qiyamah, 42.